

運営委員会だより

◇ 第3回総会と特別企画、5月20日に

今年の桜の開花には、やきもきしましたね。会員のみなさんのお近くの桜はいかがでしたか。教育会館3階から見える前橋公園の桜は4月13日（金）満開。「こんな時に部屋の中で会議なんて無粋だよ。外で花見しながらにしようよ」という某運営委員の声に動揺しつつも、総会特別企画をめぐる真剣な議論をしました。同封のチラシ案内をご覧のうえ、ぜひあなたも知人友人を誘ってご参加下さい。

◇ 今回のニュースはいかがですか。

下田由佳さんと長谷川陽子さんの若いセンスと技が加わった「倉林ニュース工房」、親しみやすく充実した紙面をめざしています。

◇ 群馬県再チャレンジ支援（未就職卒業生支援事業）2年目

新入生・新入社員が入って、学校にも会社にもフレッシュな風が吹いていることでしょうか。しかし、卒業しても「正社員」になれなかった若者が増え、社会問題になっています。彼らの胸のうちが思いやられます。

群馬県は昨年度、「再チャレンジ支援」事業を実施しました。3年以内に高校・短大・専門学校・大学を卒業した未就職者を対象に、6ヶ月間の有期雇用（この間の給料は県が負担）で働きながら、企業実習と職場外研修でスキルを身につけ正規雇用につなげるという事業です。群馬県若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）では、ス

タッフ総力あげて取り組み、158名の若者が正規雇用につながりました。私もカウンセラーとしてささやかなお手伝いをしましたが、晴れて「正社員」になれた笑顔の若者に、思わず握手！今年度もこの事業を継続します。お近くで悩んでいる若者がいたら、まずは気軽にジョブカフェへと、勧めて下さい。

◇ グループホーム宿泊体験

春休み、鹿児島の母（92歳）がお世話になっているグループホームを訪ねて、今回は一緒に寝泊りしました。独り暮らしでうつ状態だった時と比べると、見違えるように元気になっています。食事作りから、日々の暮らしのお世話、リクレーション…、若いスタッフの親切な介護に頭が下がりました。9名の認知症老人に夜は一階に一人ずつの宿直、1時間ごとに見回ってくれます。平野和弘教授（東洋大）らは、高校福祉科のライフコースを追跡調査していますが、彼らは紆余曲折ありながらも、地域で高齢化社会の福祉を支えるちからとして育ちつつあるとのこと。しかし、介護・福祉の世界だけは求人数に比して応募が少ない。この仕事に対する社会の評価と待遇の大幅な改善に、私達も応援なくてはと思います。

母の個室の床に布団を敷いて寝る私に「寒かろうが、ぐらしか（かわいそう）ねえ」と気遣う母。認知力は衰えても感情は失わないのだと実感しました。
（瀧口 典子）

今後の主な予定

5月11日（金）18時～	評議員会（教育会館1階会議室）
5月12日（土）～13日（日）	民主教育研究所評議員会、20周年記念研究集会
5月18日（金）13時～	スタジイ楽書会（フォーラム）
5月20日（日）13時～	フォーラム第3回総会（前橋市総合福祉会館）
14時半～17時	特別企画「若者はどこで育つのか」
5月25日（金）13時～	教育ネットワークぐんま事務局会議（フォーラム）
5月26日（金）14時～	近現代史ゼミ「沖縄③」（前橋市総合福祉会館）
6月2日（土）13時～	子どもとメディア研究部会（フォーラム）

育ちと学び No. 12 発行：ぐんま教育文化フォーラム

〒371-0026

前橋市大手町3-1-10 教育会館3F

(TEL・FAX)

027-235-8876

(IP電話) 050-3419-3803

(E-mail) g-kyoken@nifty.com

(HP) <http://homepage2.nifty.com/g-kyoken>